

2025 年度第 1 回一宮市子ども読書活動推進懇話会会議録（要旨）

- 1 開催日時 2025 年 8 月 6 日（水）午前 10 時～11 時 27 分
- 2 開催場所 中央図書館 6 階 多目的室 1
- 3 出席者 懇話会委員：10 名 事務局：7 名
- 4 議 題
 - (1) 会長及び副会長の選任について
 - (2) 一宮市子ども読書活動推進計画の成果について
 - (3) その他
- 5 開 会 （事務局が開会を宣言）
懇話会委員、事務局職員自己紹介
「子ども読書のまち宣言」唱和（先導は図書館長）
館長挨拶
- 6 会 議（要旨）
 - (事務局) 事務局より議題（1）について説明。その後会長を互選により選出。副会長は会長の選任にて選出。選出委員は会長席・副会長席に移動。会長・副会長は就任挨拶。その後、会長が議長になり議事進行。
 - (事務局) 議題（2）について、推進計画の進捗状況及び目標値、取り組み状況を説明。
 - (会 長) 取り組み状況の「子どもに読んでほしい図書の情報発信の継続・強化」というところで、ティーンズコーナーの貸出数が年々下がってきています。中高生という一番多感な時期の子たちに興味を持ってもらえるような図書の購入などを考えていただきたいと思います。
それから子ども文化広場図書館で毎年 11 月にやっている子どもフェスティバルですが、2024 年度は参加者の集計方法が変わりましたか。それまでは一般と児童に分けて、人数をあげてありますが。
 - (事務局) 2023 年度まではカウンターを使って人力で数えていましたが、ゲート通過時に自動でカウントする人数計測を採用した結果、一般と児童を分けることができないため、合計人数の記載となりました。
 - (会 長) 移動図書館ほたる号でのおはなし会を西海戸公民館で実施していますが、いずれも 7 月、11 月、3 月の年 3 回やっているようです。できればどこか 1 回くらいは夏休みとか冬休みとか、そういう休みの時にやると、子どもさんもより来やすい時期かと思いますので、ご検討いただきたい。
 - (委 員) 施策コード 4232 の「子育て支援センター等の保護者に対する子供の読書活動の意義や重要性の啓発」で育児講座のときに読み聞かせの指導とありますが、どのようなものが行われているのですか。同じく施策コード 4233 の「保育士と支援員等に対する研修」ですが、保育士さんに読み聞かせの指導というのはどういう形でされていますか。
 - (事務局) 担当が保育課と子育て支援課となりますので、次回までに確認します。
 - (委 員) 最初に説明された目標値のところで、児童図書の配付について、認定子ども園や地域型保育事業所が増えたという話がありましたが、この関係には幼稚園というのは全然入ってこないのでしょうか。
現場にいた時に、幼稚園と保育園には壁があった時期がありましたが、幼稚園に

対して、同じ一宮市の子ども達を育てる場所であるから、やはり同じように考えていかなければいけないということで、いろいろな研修なども幼稚園の方にも案内をして、来る、来ないはその園の判断ですが、少しずつ増えてきてはいるなという感じもありました。そこで、今の読書に関する関係で、幼稚園側とそのあたりの関わりというのはあるのでしょうか。

(事務局) こちらの目標値の方では児童館、児童クラブ、保育園としか挙げていないので、幼稚園の数字が入っていませんが、実際は幼稚園にもリサイクル図書の配付の案内をしています。昨年度は 20 園中 6 園からご希望があったので、絵本をお渡ししています。

(委員) 私も小学校の現場にいましたが幼小連携とか中小連携というのがすごく重要視されていた時がありました。幼稚園から小学校というのは子どもたちにとって大変な負担になるので、生活科の中で、一時期活動したことが今から 10 年くらい前にはありました。

途中で図書館の管轄が活力創造部に教育委員会から変わったじゃないですか。私も教員 OB として児童文化教室に携わりましたが、教育委員会に対する対応というのがなかなか難しくなって、幼小連携はどうなったとか、そういうことも結局、引き継ぎができてなかったら、そこで切れてしまうんですね。ですから結局 1 回盛り上がったものが少ししぼんだのかなと思うので、もう一度、活力創造部から教育委員会、学校教育課や保育課とも連携し、私立の保育園もたくさんあると思いますが、そういう所にもいろいろなお知らせだけはしていただけたらと思います。

(会長) 幼小連携とか、いろんな連携の話がございしますが、以前図書館は教育委員会におりました。今は活力創造部が変わっておりますが、やはり教育委員会とは切っても切れない間柄だと思いますので、また読書活動推進計画策定の時には連携をますます深めていくという事が大事ではないかと思っております。

(委員) ブックスタートについて、2024 年が 10 回位減っていますが、どうして減ったのかが知りたいです。70 回から 60 回になっています。

(事務局) 保健センターの方で計画されている 4 か月児健診の時にブックスタートをやっていますので、どうして減ったのかというのは保健センターに確認しないと分かりませんが、回数が減った分、1 回あたりに来る人数が増えたと思います。

(会長) 子どもさんの数に関しては今、数が減ってきている状況ですけど。今年の回数ももう決まっていますか。

(事務局) 年間の予定表が来ております。昨年度と同じ 60 回です。

(会長) ついでの質問ですけどブックスタートは、今はどういう形で、それぞれ 3 センターでやっていますか。

(事務局) 中保健センターは、中央図書館の職員と業務委託先のスタッフと子ども文化広場図書館の会計年度任用職員と、主任児童委員さんがお 1 人です。

(事務局) 西保健センターは尾西図書館職員と主任児童委員さんとボランティアさんという形です。

(事務局) 北保健センターは木曾川図書館職員と会計年度任用職員、主任児童委員お 2 人の合計 4 人です。

(会長) そうすると、いわゆる体制としては、ほぼ一緒という。

- (事務局) 前は中保健センターと北保健センターもボランティアさんにお手伝いしていただいていたがコロナ以降、実施場所が変わったこともあり、今はボランティアさんには来ていただけていないです。
- (会 長) ではご意見も出尽くしたということで議題（2）はここで閉じさせていただきます。今日、質問を投げかけているところは、また確認をしておいていただきたいと思います。次の議題（3）その他について事務局からお願いします。
- (事務局) 次回の懇話会ですが、10月頃を予定しております。詳細が決まりましたら改めてご連絡いたしますので、よろしくをお願いします。
- (会 長) それでは本日予定しておりました議題はすべて終了いたしました。これもちまして本日の会議は終了させていただきます。